

である。出現個体の全長範囲は7.2—15.3mmである。

Stephanolepis japonicus (TILESIUS) ? ヨソギ? (1回出現、1尾)

1973年7月のO-1に全長24.0mm、1尾が出現した。

Navodon modestus (GÜNTHER) ウマズラハギ (3回出現、11尾)

1974年5月の東支那海域と黒潮主流域に出現し、その全長範囲は2.4—16.5mmである。

Aluteridae gen. sp. カワハギ科種不明 (7回出現、8尾)

春期から秋期にかけて出現した。出現海域は近海域でその全長範囲は10.5—21.0mmである。

64. Ostraciontidae ハコフグ科 (1回出現、1尾)

Lactoria diaphanus (BLOCH et SCHNEIDER) ウミスズメ

(1回出現、1尾)

1974年7月のO-2に全長13.0mm 1尾が出現した。

65. Tetraodontidae フグ科 (4回出現、4尾)

Tetraodontidae gen. spp. フグ科種不明 (4回出現、4尾)

春期から秋期に出現した。全海域に出現し、出現個体の全長範囲は1.8—8.7mmである。

66. Diodontidae ハリセンボン科 (3回出現、3尾)

Diodon holacanthus LINNÉ ハリセンボン (3回出現、3尾)

O-3に1973年5月に全長4.0mm 1尾、11月に全長8.0mm 1尾、1974年7月に全長3.0mm 1尾、合計3尾が出現した。

Tetraodontina フグ亜目種不明 (3回出現、3尾)

全て8月に出現した。出現海域は近海域で全長範囲は2.4—6.4mmである。

67. Scorpaenidae フサカサゴ科 (22回出現、45尾)

Pterois sp. ミノカサゴ属種不明 (3回出現、4尾)

近海域に出現し、全長範囲は4.6—15.0mmである。

Scorpaenidae gen. spp. フサカサゴ科種不明 (19回出現、41尾)

四季を通して出現し、出現盛期は夏期、出現海域は全海域で、主分布域は東支那海域と黒潮主流域である。時刻別出現個体数は04—06時が最も多く出現し、ついで20—22時となった。出現点の表面水温範囲は20.5—29.0°Cでモードは28.1—29.0°Cにある。出現個体の全長範囲は2.5—10.0mmである。

68. Synanceiidae オニオコゼ科 (3回出現、3尾)

Synanceiidae gen. sp. オニオコゼ科種不明 (3回出現、3尾)

7月のO-2に全長11.2mm 1尾、O-6に全長11.8mm 1尾、9月のA-5に全長10.0mm 1尾が出現した。

69. Congiopodidae ハオコゼ科 (1回出現、2尾)